

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 北海道財務局長

【提出日】 2019年8月7日

【四半期会計期間】 第57期第2四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 フルテック株式会社

【英訳名】 Fulltech Co.Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 社長執行役員 古野 重幸

【本店の所在の場所】 北海道札幌市中央区大通東三丁目4番地の3

【電話番号】 011-231-4568(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役専務執行役員管理本部長 田中 康之

【最寄りの連絡場所】 北海道札幌市中央区南1条東2丁目8番2

【電話番号】 011-222-3572(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役専務執行役員管理本部長 田中 康之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

(注) 第57期第1四半期報告書より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第56期 第2四半期 連結累計期間	第57期 第2四半期 連結累計期間	第56期
会計期間		自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2018年12月31日
売上高	(千円)	4,870,060	5,661,856	7,700,458
経常利益	(千円)	190,394	343,480	363,617
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	113,781	219,021	223,651
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	111,498	198,176	203,331
純資産額	(千円)	5,703,895	5,848,977	5,742,051
総資産額	(千円)	9,128,387	9,901,249	9,265,171
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	21.20	40.80	41.67
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	62.5	59.1	62.0
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	428,226	945,828	157,058
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	36,398	158,314	141,144
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	132,967	108,806	195,754
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	2,494,146	2,734,152	2,055,445

回次		第56期 第2四半期 連結会計期間	第57期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	22.92	8.27

- (注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第56期は、決算期変更により2018年4月1日から2018年12月31日までの9ヶ月決算となっております。これに伴い、前第2四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年9月30日)と当第2四半期連結累計期間(2019年1月1日から2019年6月30日)とは対象期間が異なっております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当社は前連結会計年度（2018年12月期）より決算日を3月31日から12月31日に変更しております。これにより前連結会計年度は2018年4月1日から2018年12月31日までの9ヶ月決算となっております。

このため、2018年12月期第2四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年9月30日）と2019年12月期第2四半期連結累計期間（2019年1月1日から2019年6月30日）とは対象期間が異なるため、前年同四半期との増減比較については記載しておりません。

（1）財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は、9,901百万円となり、前連結会計年度末と比べ636百万円の増加となりました。これは現金及び預金が678百万円、建物及び構築物（純額）が92百万円増加した一方で、仕掛品が141百万円減少したこと等によるものであります。

負債総額は、4,052百万円となり、前連結会計年度末と比べ529百万円の増加となりました。これは賞与引当金が305百万円、未払法人税等が243百万円増加したこと等によるものであります。

純資産総額は、5,848百万円となり、前連結会計年度末と比べ106百万円の増加となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益219百万円の計上と配当金91百万円の支払によるものであります。

（2）経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が高い水準で底堅く推移し、雇用情勢の着実な改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、米中通商問題の長期化や中国経済の減速等、海外経済の不確実性の高まりが懸念されており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、首都圏を中心とした新規販売のシェアアップ、トータルリニューアルの受注推進、プロセス管理の強化による収益向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は5,661百万円、営業利益は325百万円、経常利益は343百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は219百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

自動ドア関連

大型物件の反動減により、新規の自動ドア販売台数の減少はあったものの、取替台数及び保守契約台数の堅調な増加により、売上高は3,677百万円、セグメント利益（営業利益）は951百万円となりました。

建具関連

足元の受注は好調な推移が続き、売上高は1,588百万円となり、選別受注による採算性の向上により赤字幅が縮小した結果、セグメント損失（営業損失）は24百万円となりました。

その他

駐輪システム事業が好調に推移した結果、売上高は395百万円、セグメント利益（営業利益）は62百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、2,734百万円となり、前連結会計年度末に比べ678百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は945百万円となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益341百万円、賞与引当金の増加額305百万円、たな卸資産の減少額121百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は158百万円となりました。

支出の主な内訳は、固定資産の取得による支出183百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は108百万円となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額91百万円、長期借入金の返済による支出10百万円であります。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は18百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,367,800	5,367,800	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	5,367,800	5,367,800		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年6月30日		5,367,800		329,304		279,304

(5) 【大株主の状況】

2019年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
有限会社ウェルマックス	北海道札幌市中央区大通東三丁目4番地の3	1,065	19.86
古野 重幸	北海道札幌市豊平区	570	10.62
古野 豊	北海道札幌市東区	326	6.07
フルテック従業員持株会	北海道札幌市中央区南一条東二丁目8番2	290	5.41
古野 元昭	北海道札幌市厚別区	183	3.41
秋元 正雄	宮城県仙台市若林区	162	3.02
株式会社北海道銀行	北海道札幌市中央区大通西4丁目1番地	162	3.02
株式会社光通信	東京都豊島区西池袋1丁目4番10号	161	3.01
古野 直樹	東京都三鷹市	136	2.53
古野 善昭	北海道夕張郡栗山町	130	2.44
計		3,187	59.38

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 100		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお、単元株式数は100株であります。
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,366,700	53,667	同上
単元未満株式	普通株式 1,000		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	5,367,800		
総株主の議決権		53,667	

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式25株が含まれております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) フルテック株式会社	北海道札幌市中央区大通東 三丁目4番地の3	100		100	0.0
計		100		100	0.0

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

(1) 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

(2) 当社は2018年6月27日開催の第55回定時株主総会において、定款一部変更を決議し、決算期を3月31日から12月31日に変更しました。これに伴い、前第2四半期連結会計期間は2018年7月1日から2018年9月30日まで、前第2四半期連結累計期間は2018年4月1日から2018年9月30日までとなり、当第2四半期連結会計期間は2019年4月1日から2019年6月30日まで、当第2四半期連結累計期間は2019年1月1日から2019年6月30日までとなっております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年1月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人銀河による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,074,959	2,753,666
受取手形及び売掛金	1,629,143	1,619,231
電子記録債権	332,446	347,727
仕掛品	1,264,959	1,123,020
原材料及び貯蔵品	140,648	161,097
その他	683,588	588,762
貸倒引当金	6,302	361
流動資産合計	6,119,443	6,593,144
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,013,803	1,106,131
土地	987,617	952,833
その他(純額)	147,391	141,233
有形固定資産合計	2,148,812	2,200,199
無形固定資産		
その他	121,531	136,903
無形固定資産合計	121,531	136,903
投資その他の資産		
その他	895,351	997,031
貸倒引当金	19,966	26,029
投資その他の資産合計	875,384	971,002
固定資産合計	3,145,728	3,308,105
資産合計	9,265,171	9,901,249

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,977,215	1,901,815
短期借入金	20,772	19,104
未払法人税等	12,968	256,282
賞与引当金	-	305,754
製品保証引当金	4,417	4,505
工事損失引当金	255	1,164
その他	892,657	990,265
流動負債合計	2,908,285	3,478,890
固定負債		
長期借入金	31,500	22,500
役員退職慰労引当金	200,130	208,250
退職給付に係る負債	364,272	329,610
その他	18,932	13,020
固定負債合計	614,835	573,380
負債合計	3,523,120	4,052,271
純資産の部		
株主資本		
資本金	329,304	329,304
資本剰余金	289,864	289,864
利益剰余金	5,070,500	5,198,270
自己株式	200	200
株主資本合計	5,689,468	5,817,238
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132,159	108,186
退職給付に係る調整累計額	79,576	76,447
その他の包括利益累計額合計	52,583	31,738
純資産合計	5,742,051	5,848,977
負債純資産合計	9,265,171	9,901,249

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	4,870,060	5,661,856
売上原価	3,135,111	3,703,844
売上総利益	1,734,948	1,958,011
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	83	88
給料及び手当	587,208	634,946
賞与引当金繰入額	68,124	130,278
退職給付費用	16,669	18,884
役員退職慰労引当金繰入額	11,511	12,320
貸倒引当金繰入額	-	121
その他	875,815	835,917
販売費及び一般管理費合計	1,559,412	1,632,555
営業利益	175,536	325,455
営業外収益		
受取利息	90	99
受取配当金	4,068	4,732
貸倒引当金戻入額	426	-
作業くず売却益	6,293	5,281
受取補償金	-	2,753
その他	5,107	6,234
営業外収益合計	15,987	19,101
営業外費用		
支払利息	204	121
リース解約損	394	715
その他	530	240
営業外費用合計	1,129	1,077
経常利益	190,394	343,480
特別利益		
固定資産売却益	-	7,434
特別利益合計	-	7,434
特別損失		
固定資産除却損	80	0
減損損失	2,656	222
投資有価証券評価損	-	4,963
ゴルフ会員権評価損	-	4,700
特別損失合計	2,736	9,886
税金等調整前四半期純利益	187,657	341,028
法人税、住民税及び事業税	67,985	232,935
法人税等調整額	5,891	110,928
法人税等合計	73,876	122,007
四半期純利益	113,781	219,021
親会社株主に帰属する四半期純利益	113,781	219,021

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	113,781	219,021
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,237	23,973
退職給付に係る調整額	2,954	3,128
その他の包括利益合計	2,282	20,844
四半期包括利益	111,498	198,176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111,498	198,176

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	187,657	341,028
減価償却費	82,678	78,965
減損損失	2,656	222
固定資産除却損	80	0
貸倒引当金の増減額(は減少)	426	121
賞与引当金の増減額(は減少)	33,561	305,754
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	10,139	8,120
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	27,923	30,166
工事損失引当金の増減額(は減少)	880	908
製品保証引当金の増減額(は減少)	83	88
受取利息及び受取配当金	4,159	4,832
支払利息	204	121
投資有価証券評価損益(は益)	-	4,963
ゴルフ会員権評価損	-	4,700
固定資産売却損益(は益)	-	7,434
売上債権の増減額(は増加)	1,098,597	5,369
たな卸資産の増減額(は増加)	264,790	121,490
仕入債務の増減額(は減少)	443,814	75,399
未払消費税等の増減額(は減少)	61,667	41,971
その他の資産の増減額(は増加)	134,948	35,363
その他の負債の増減額(は減少)	66,100	72,414
その他	-	3,400
小計	543,148	896,431
利息及び配当金の受取額	4,256	4,832
利息の支払額	204	121
法人税等の支払額	118,973	6,489
法人税等の還付額	-	51,175
営業活動によるキャッシュ・フロー	428,226	945,828
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	10,979	1,600
定期預金の払戻による収入	10,979	1,600
有形固定資産の取得による支出	5,487	147,001
有形固定資産の売却による収入	-	43,251
無形固定資産の取得による支出	15,588	36,344
投資有価証券の取得による支出	-	6,944
敷金及び保証金の差入による支出	1,799	1,002
敷金及び保証金の回収による収入	2,241	2,741
保険積立金の積立による支出	14,888	13,100
その他	876	87
投資活動によるキャッシュ・フロー	36,398	158,314

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	33,068	10,668
リース債務の返済による支出	8,714	6,690
配当金の支払額	91,185	91,448
財務活動によるキャッシュ・フロー	132,967	108,806
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	258,860	678,706
現金及び現金同等物の期首残高	2,235,286	2,055,445
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,494,146	2,734,152

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
現金及び預金	2,513,659千円	2,753,666千円
預入期間が3か月を超える定期預金	19,513 "	19,513 "
現金及び現金同等物	2,494,146千円	2,734,152千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月27日 定時株主総会	普通株式	91,250	17	2018年3月31日	2018年6月28日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には、東京証券取引所市場第一部指定記念配当2円を含んでおります。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月8日 取締役会	普通株式	53,676	10	2018年9月30日	2018年12月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月28日 定時株主総会	普通株式	91,250	17	2018年12月31日	2019年3月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年8月7日 取締役会	普通株式	53,676	10	2019年6月30日	2019年9月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動ドア関連	建具関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,440,748	1,118,026	4,558,775	311,285	4,870,060
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	7,335	7,335
計	3,440,748	1,118,026	4,558,775	318,620	4,877,396
セグメント利益 又は損失()	814,401	29,174	785,226	45,624	830,851

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「駐輪システム事業」、「環境機器事業」、「セキュリティ事業」、「付帯事業」、「商品販売事業」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	785,226
「その他」の区分の利益	45,624
全社費用(注)	648,463
棚卸資産の調整額	24,851
その他の調整額	18,000
四半期連結損益計算書の営業利益	175,536

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動ドア関連	建具関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,677,564	1,588,357	5,265,922	395,934	5,661,856
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	10,061	10,061
計	3,677,564	1,588,357	5,265,922	405,996	5,671,918
セグメント利益 又は損失()	951,386	24,913	926,473	62,058	988,532

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「駐輪システム事業」、「環境機器事業」、「セキュリティ事業」、「付帯事業」、「商品販売事業」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	926,473
「その他」の区分の利益	62,058
全社費用(注)	691,172
棚卸資産の調整額	10,096
その他の調整額	18,000
四半期連結損益計算書の営業利益	325,455

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益	21円20銭	40円80銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	113,781	219,021
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	113,781	219,021
普通株式の期中平均株式数(株)	5,367,675	5,367,675

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

第57期（2019年1月1日から2019年12月31日まで）中間配当について、2019年8月7日開催の取締役会において、2019年6月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	53,676千円
1株当たりの金額	10円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2019年9月9日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年 8月 7日

フルテック株式会社
取締役会 御中

監査法人 銀 河

代表社員
業務執行社員 公認会計士 木 下 均 印

業務執行社員 公認会計士 富 田 佳 乃 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフルテック株式会社の2019年1月1日から2019年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年1月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フルテック株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 . XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。